

災害シュミレーションについて

目的: 災害発生の急性期における、災害ペアステーションと連絡協議会への連絡、情報交換及び必要に応じた支援要請ができる。

1. 日程

令和6年9月19日(木曜日)

2. 時間

午後12時30分 シュミレーション開始

3. 概要

熊本県 集中豪雨による土砂災害や浸水被害の発生

(昨年同様、各ブロックの災害委員にて発生に関するシナリオを作成する。)

・タイムスケジュール(約1時間の予定)

12時30分 災害発生、SOS発信(災害マニュアル 様式1をFAXする。2は記載のみ)

※ 30分以内でSOSの連絡が来なかったら、副ブロック長または災害委員より連絡ブロック長のサポートを行う。

13時00分~13時15分 状況把握(ブロック長、副ブロック長)

13時30分 ブロック長は副代表へ報告及び支援要請

シュミレーション終了。(1時間以上は業務に支障が出るためストップする。)

4. 今年度もステーション管理者ではなく、スタッフによる報告体制の訓練を実施。

目的: 被災することで、必ずしも管理者が現場に来れない可能性があることや、スタッフ全員が報告体制に関する認識と対応を統一できるようにするため。

5. 災害マニュアルを必ず準備してください。各ブロックごとにペアステ確認をお願いします。

6. 熊本市内のステーションに関しては、

各事業所 → 副ブロック長(各区)へFAX → 副ブロック長からブロック長に連絡するようにしてください。

理由: 一斉にブロック長のところにFAXが届くことになり回線がストップするため。

連絡方法として、その他ICTではなくFAXなのかは、シュミレーションに関しては書面に残る事で確認が安易で、能登半島地震でもアナログが活躍している。他の方法を否定するものではありません。災害時は可能な手段を駆使する事が必要となる。

7. 9月20日(金曜日)アンケート送信(Googleフォーム活用)

8. ご不明な点などございましたら、各ブロック災害委員へ連絡をお願いします。